

区民のいのちと暮らし、財産を守るために

選挙後初の定例区議会が6月15日から24日まで開かれました。党区議団は、東日本大震災を教訓に、区民のいのちと財産を守ること、福島原発の事故による放射能

汚染からいのちを守る施策展開を求める質問をしました。質問の要旨を紹介します。(質問の全体と詳細はホームページ、党区議団にお問合わせ下さい。)

「津波」・「液状化」対策は緊急課題

①防災訓練に「津波」を想定したものを加える。②「津波避難ビル」をつくる。③企業などと「津波避難ビル」の協定を結ぶ。④古川に水門の設置を関係機関に要請する。⑤液状化対策を行うこと。

- 「災害時要援護者」を地震被害から守れ
- 防災無線の増設など緊急時の伝達を確実に
- 子ども達を放射能から守るために
- 高層住宅の防災対策の支援を
- すぐに利用できる避難所(学校)の準備を
- 帰宅困難者対策を
- 小・中学校での震災時の帰宅のあり方を明確に

代表・一般質問の要旨

3つの「ゼロ」の実施を迫る

保育園の待機児童をいつまでに解消するのか

この4月に公立保育園に入園できなかった方は893人。待機児解消は区長の公約。いつまでに解消するのか、明確にすべき。

特別養護老人ホームの建設は待ったなし

407名もの待機者解消には、建設計画を作成し、建設に着手すべき。多床室も含めた計画を。

75歳以上の医療費を無料に

高齢者に長生きをしてもらうためにも、医療費削減のためにも、早期発見、早期治療が大切。75歳以上の医療費を無料に。

日本共産党は原発からの撤退を決断し、原発ゼロを期限を決めて実行するプログラムを作成すること、原発ゼロまでの期間あらゆる安全対策を取る機関を確立することを政府に求めています。また「撤退を求める署名」を取り組んでいます。区議会でも区長にたいして「原発からの撤退を国に求めよ」と質問しましたが「国の責任で取り組むもの」との答弁でした。

政府は、現在の原発技術が原子炉内に放射性物質を閉じ込めておくことも、廃棄物の処理方法もないという本質的に未完成で危険なものであるという認識を持たず、原発を世界有数の地震・津波国に集中立地することは危険きわまりないものです。しかも歴代政府が「安全神話」にしがみつき、繰り返し警告も無視して安全対策を取らなかったことが今日の深刻な結果をもたらしました。

福島第一原発が重大事故を起こしてから4ヶ月になりますが、収束のメドが立っていないばかりか放射性物質の拡散が続く深刻な事態の中、原発からの縮小・撤退を求める世論が多数になっています。

原発から「自然エネルギー」に転換を撤退し



区民から寄せられた声をまとめ、共産党区議団がかねてから要求していたものが実ったものです。

災害時における児童・高齢者の安全を確保するために、公私立保育園(暫定・認証も含む)、幼稚園、小・中学校、児童館、いきいきプラザ等175施設に、折りたたみ式ヘルメットや防災ずきんが配備されることになりました。

保育園や学校 高齢者施設等にヘルメット配備 防災ずきん

事務局長 広瀬 邦治



大滝 実

区民文教常任委員 / まちづくり・子育て等対策委員 / 防災・エレベーター等対策委員 / 副幹事長



沖島 えみ子

総務常任副委員長 / まちづくり・子育て等対策委員



風見 利男

建設常任委員 / 議会運営委員 / 行財政等対策副委員長 / 幹事長



熊田 ちづ子

保健福祉常任委員長 / 交通・環境等対策委員 / 防災・エレベーター等対策委員 / 議員団長

困ったときはすぐ相談を 4名の区議が ご相談に応じます

日本共産党

港区議員団ニュース

2011年 7月号

〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25

発行：日本共産党港区議員団

TEL：03-3578-2945 FAX：03-3578-2947

メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp

ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

港区議団 検索

**放射能から子どもを守る
子どもたちの安全対策に関する
請願全会一致で採択**

3月11日の東日本大震災により発生した原発事故に関して「子ども達の安全と健康を守るため、区独自の万全な対策を求める」請願が提出され、全会一致で採択されました。

今回の原発事故は、未だ収束の見通しもなく、多くの区民の不安が広がっています。とりわけ子どもを持つ親たちの不安は大きく広がっています。

請願代表者からは、正確な情報を求める声や、土壌や食材による内部被曝に関する親たちの不安が切々と述べられました。

**短期間に1565筆の
署名が集まりました。**

3月11日以降、区議会も保育園や学校、公園の砂場や地上5センチ・

50センチ・1メートルの高さでの放射能測定を求めてきました。

区民の不安解消のために、引き続き測定場所や回数を増やす等の改善を求めています。



**私立認可保育園が港南に
10月開園予定 定員60名**

私立の認可保育園（運営ライフサポート株式会社）が開設されることになりました。定員は60名で、港南1丁目6番品川ビルの2階部分を全フロアー使って、整備されます。

ビル利用者とは別に保育園専用の入り口も確保されます。

保育園の入園を待っている方は多く、まだまだ整備が追いついていません。

これからも早期の待機児童解消のために公立保育園の建設や暫定保育室の開設に取り組んでいきます。

太陽光発電の設置費助成拡大

党区議団は、これまで太陽光発電の促進を図るため助成額単価の引き上げ、マンションなど共同住宅での設置を促進するため助成限度額の引き上げを繰り返し求めてきました。

これにより国や都の助成制度と合わせて利用すれば、共同住宅で6kWを設置した場合、費用の6割近くを助成金で賄えるとの試算がされています。

助成額単価の引き上げ（個人住宅、共同住宅共用部、事業所共通）

1kW当たり
10万円から**20万円**に

助成限度額の引き上げ

個人住宅 30万円から**60万円**に
共同住宅共用部

30万円から**200万円**に
事業所

100万円から**200万円**に

建設関係の3請願

共産党委員の奮闘もあり、全会一致で採択

今議会に「（仮称）港区六本木5丁目計画に関する請願」が2件提出されました。…請願要旨は、「単身者向け住戸建設等の計画内容は、周辺地域の環境に悪影響をもたらすこと」「通学路及び学院周辺の環境・風紀の悪化を招くこと」のないよう、建築主等に対し、指導されたいというもので全会一致で採決されました。

この計画では、業者が「また説明会を開催します」と約束しているにもかかわらず、「説明会報告書」を受け取ってしまったため、説明会は終わったことになってしまいます。共産党委員は、このことを指摘し、説明会は済んでいない、区民の立場に立ち指導するよう提案しました。担当課長は「話し合いをするよう業者を指導する」と約束しました。

「南麻布4丁目4番地の安全な通行と防災に関する請願」…請願趣旨は、「道路に面した隅きりなくなる事態が生じているため、地域住民の安全な通行と防災に配慮した街づくりとなるよう関係諸機関に指導されたい」というもの。最初「継続」を主張した自民党も「採択」にまわり、賛成多数で「採択」となりました。

青山通りに明るくもどる

**「映画館より暗い」と指摘される
国道、真つ暗で危険**

区議団と住民の指摘で、東京国道事務所は、青山通りの歩道の街路灯を点灯しました。

節電の一環として国道246号線（通称：青山通り）や一部の国道は、車道も歩道も街路灯を点灯しないように（交差点は一部点灯）、会社やお店が照明をおとしたり、早しまいで、夜になると真つ暗です。自転車と歩行者がぶつかり、3週間も入院

ひきつづき支援を

震災を政争の具にしている場合ではありません。被災地の瓦礫の山を見たとき、ひきつづき息の長い支援が必要と痛切に感じました。

炊き出しと支援物資を届けました

支援活動は、300人分のカレーライスの炊き出しと、区民のみなさんから寄せられたお米300キロ、募金で購入した新鮮な野菜、全国から届いた日用品などを、閉鎖しているスーパー前で配布。170人がみえ、わずか1時間で用意したお米や野菜がなくなりました。行政からの支援もなく、依然として物資が行き渡っていない状況がわかりました。

**被災地石巻支援に
区議団4名とボランティア4名**

共産党区議団4名を含め8名が、5月31日から6月3日まで石巻市で支援活動を行いました。いのみ前区議は1ヶ月間支援に行きました。

現地は、震災から2カ月半経っていたのに、まるで被災直後のように、瓦礫の山、魚などの腐敗したひどい臭いがたちこめていました。



日用品等の支援物資の受け取りに来られた被災者のみなさん

■共産党は、7月21日から第二次のボランティアをおくります。ぜひ、ご参加ください。
問い合わせは共産党港区議団 ☎3578-2945